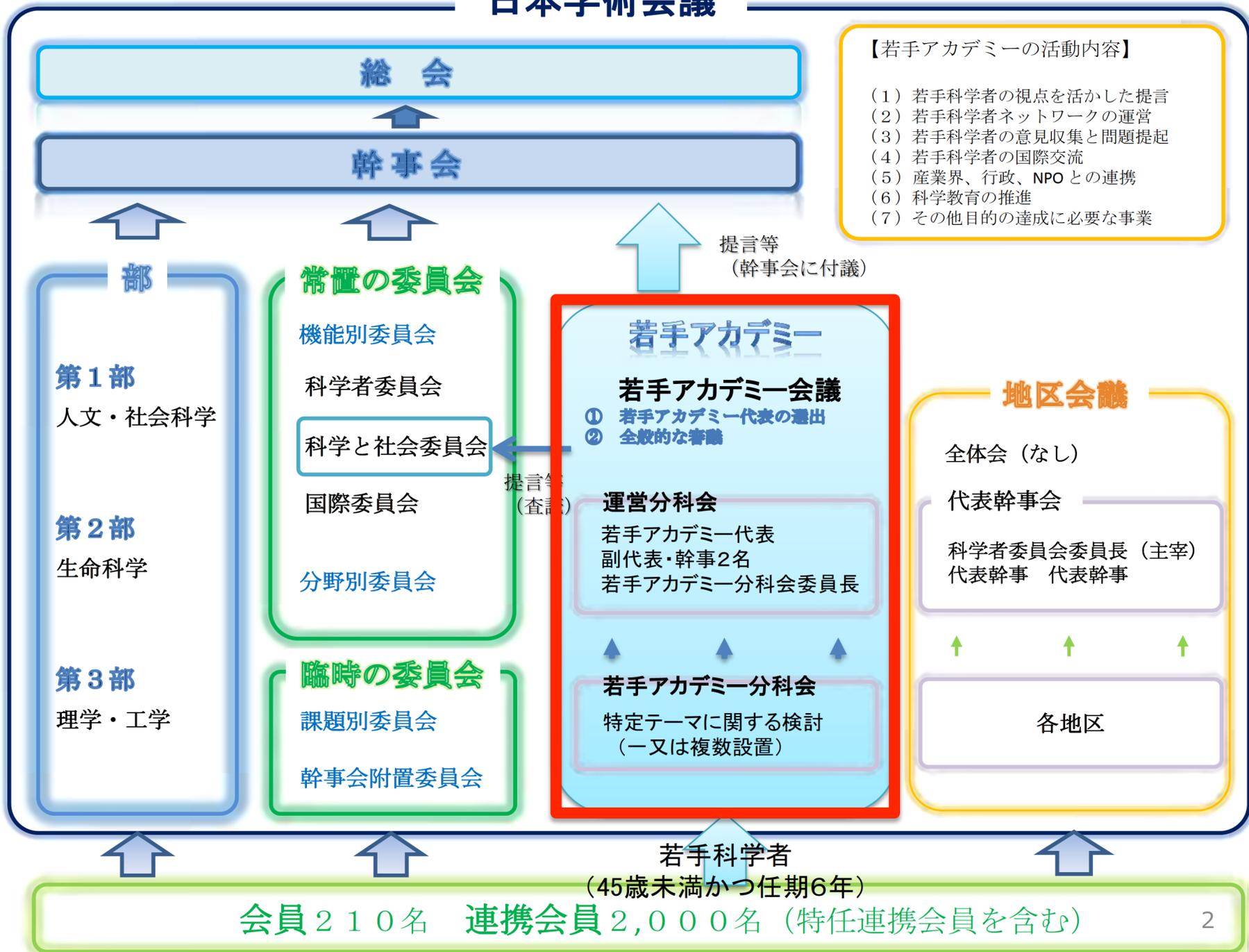


若手研究者支援と研究費

若手アカデミー委員からの一視点

吉田丈人
東京大学 総合文化研究科
日本学術会議 若手アカデミー

日本学術会議



【若手アカデミーの活動内容】

- (1) 若手科学者の視点を活かした提言
- (2) 若手科学者ネットワークの運営
- (3) 若手科学者の意見収集と問題提起
- (4) 若手科学者の国際交流
- (5) 産業界、行政、NPO との連携
- (6) 科学教育の推進
- (7) その他目的の達成に必要な事業

【若手アカデミーの活動内容】

- (1) 若手科学者の視点を活かした提言
- (2) 若手科学者ネットワークの運営
- (3) 若手科学者の意見収集と問題提起
- (4) 若手科学者の国際交流
- (5) 産業界、行政、**NPO**との連携
- (6) 科学教育の推進
- (7) その他目的の達成に必要な事業

(別添資料)

若手研究者支援・
研究支援人材活用を通じた
日本の科学技術を
高めていく方法論の提案

日本学会議

若手アカデミー委員会 (有志)

目次

– 0. 若手研究者を取り巻く状況の認識

• 若手研究者支援

– 1. すぐに着手できるもの

• 1-1 個人に対する支援の拡充

• 1-2 若手研究者間ネットワークの構築支援

• 1-3 提案の新制度を支えるための若手アカデミーの役割について

– 2. 中長期的な制度改革

• 2-1 科学研究に関わる人材の活用のための中長期的制度案

• 2-2 科学研究を支える社会構築のための教育制度案

提言

「我が国の研究力強化に資する若手研究人材雇用制度について」

- 1) ポスドク研究者の研究者としての位置づけ
- 2) ポスドク研究者の俯瞰的・持続的ポートフォリオの構築
- 3) 多様なキャリアパスの創出と促進
- 4) 新しい資格や職業の認定
- 5) 競争的資金PIに課する育成責任
- 6) 大学など研究機関の運営及び人事制度の改革
- 7) 大学院生の支援体制の充実
- 8) 新しい研究者組織の設計

提言

我が国の研究力強化に資する
若手研究人材雇用制度について



平成26年(2014年)9月29日

日本学術会議

我が国の研究力強化に資する研究人材雇用制度検討委員会

研究費に関する提言内容

- ・ エフォート管理の方法等によって（ポスドク研究者の）**弾力的な勤務を可能とする**よう研究費制度の改革を進めるべき
- ・ それぞれの研究投資が**長期的な研究人材の育成確保**にも資するようになる必要
- ・ **PIに対し**、ポスドク研究者を育成しキャリア形成やキャリア循環を促すなどの**育成責任を課す**仕組みを強化すべき
- ・ PIについては、その研究実績だけでなく、**人材育成実績等の情報の公開**を進めるべき
- ・ 各大学が法人としての責任を果たす為には、競争的資金における間接経費を一層充実させるなど、**基盤的財源の強化**も不可欠である

○「我が国の学術研究の振興と科研費改革について」
(第7期研究費部会における審議のまとめ) に対する個人的意見

主に研究費改革の視点から、若手研究者支援における主立った課題やその解決案について丁寧に論じられているものの、補足すべき視点も見いだされる

「異分野融合による新しいパラダイムの形成」には、**研究時間の確保**も重要

「大学において独創的な研究テーマの芽」を育てるには、**継続的な研究費**が重要 (基盤的経費か競争的経費かは別問題として)

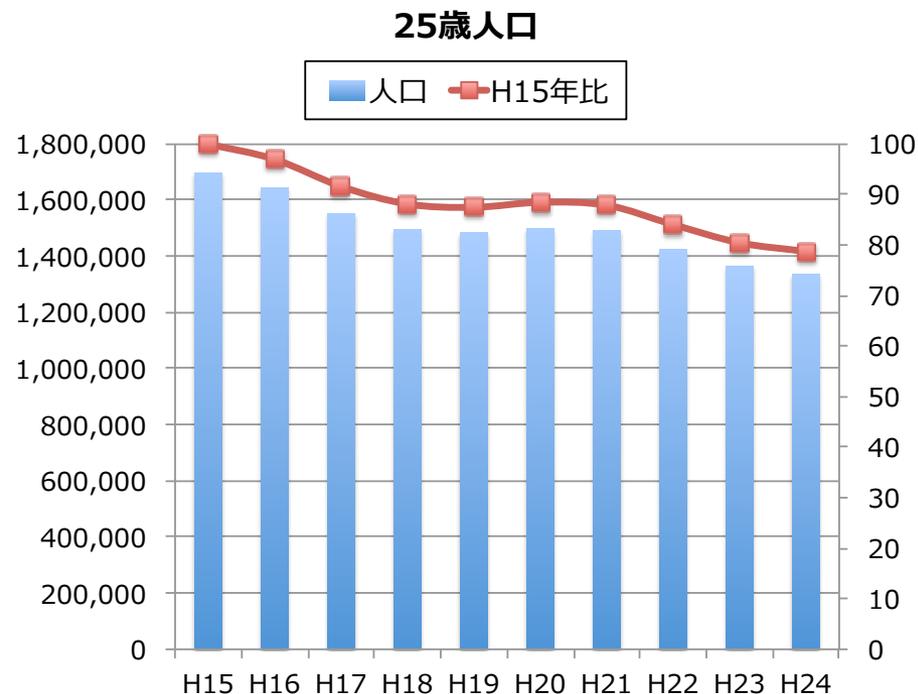
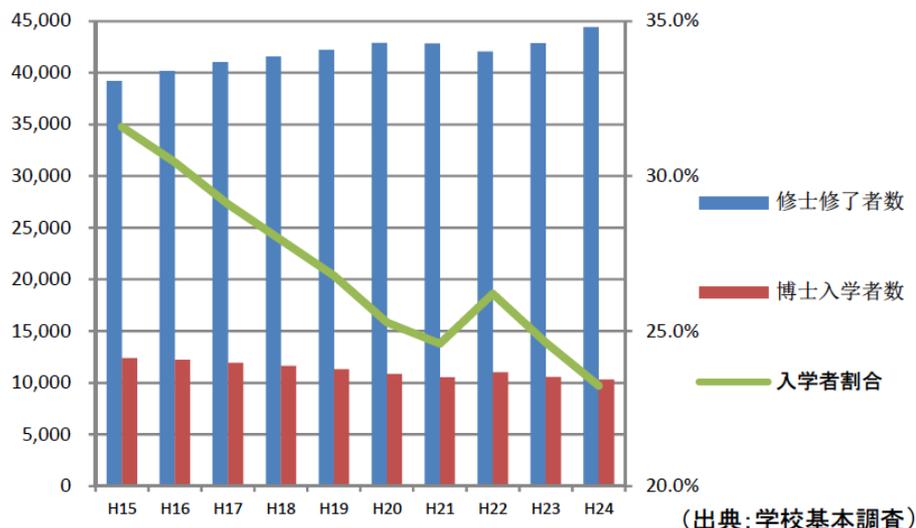
「研究者のキャリアパスイメージ」では、研究人材が**アカデミア**でない**キャリアパス**を選択できることも大事な論点

若手研究者支援と研究費に関する個人的意見

① 人口減少社会での科学技術人材養成

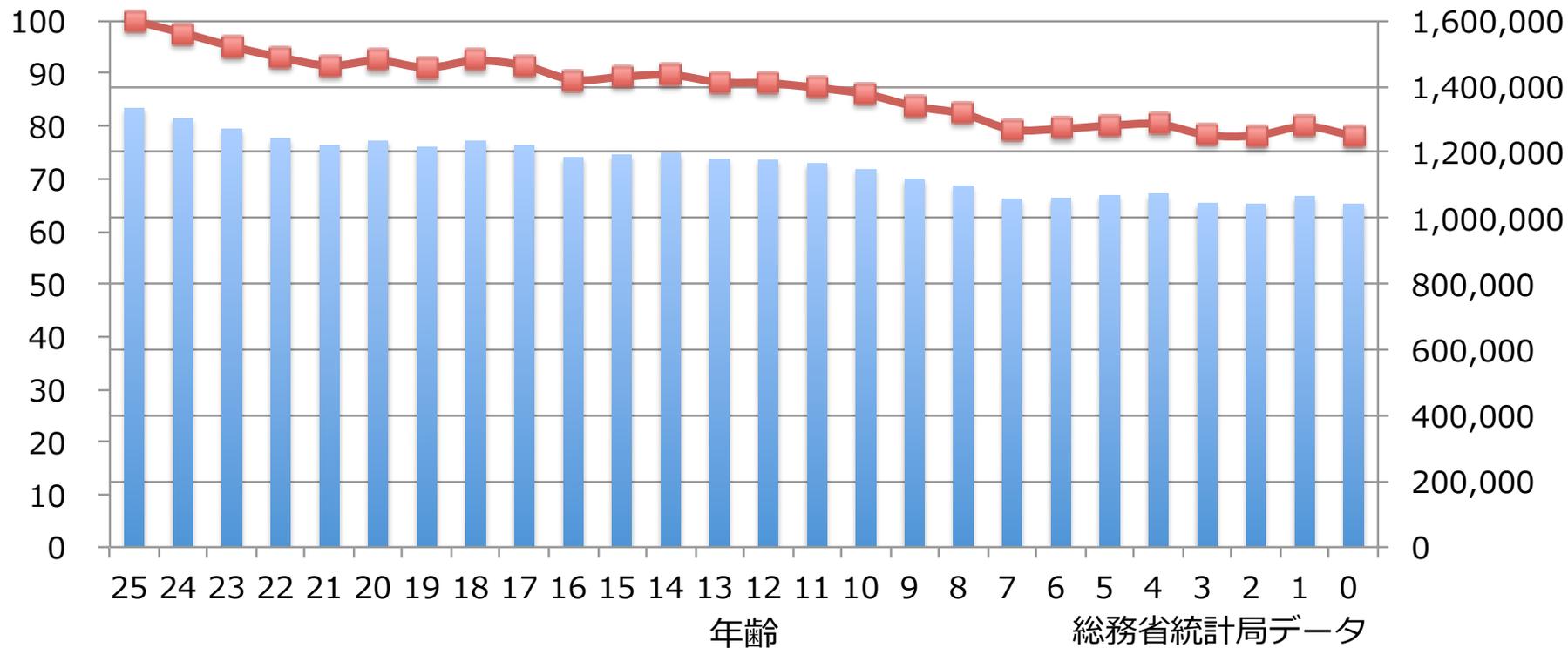
- 博士課程進学者の減少に関する適正な評価
国内全体・分野別・大学別に異なる傾向
量と質の両面

(修士修了者と博士入学生との関係)



年齢人口 (H24)

■ 人口 ■ 25歳比



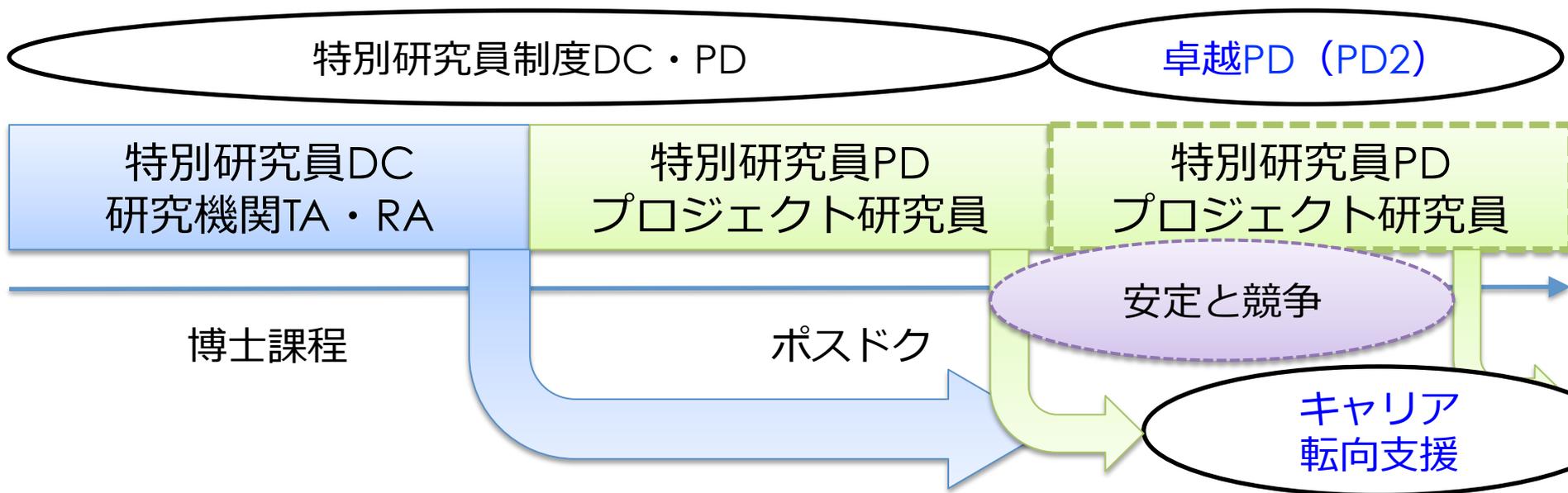
総務省統計局データ

②博士課程～学位取得～独立研究者までの継続的な支援

- ・ 経済的支援と雇用改善による**経済的安定**の確保
生活不安の環境から研究に集中できる環境へ
- ・ **スタートアップ**
新規雇用時と機関異動時
講座制による違いの考慮（独立か共同運営か）
- ・ **研究基盤**を支える経費としての科研費
継続性が確保される必要（長期基盤研究費）
基盤的経費、競争的経費、基盤＋競争
成果に対する**長期視点**からの評価
流行外の新規展開を可能に
共同研究を促進
- ・ **研究期間の柔軟化**
リスクの高い研究には継続した努力が必要

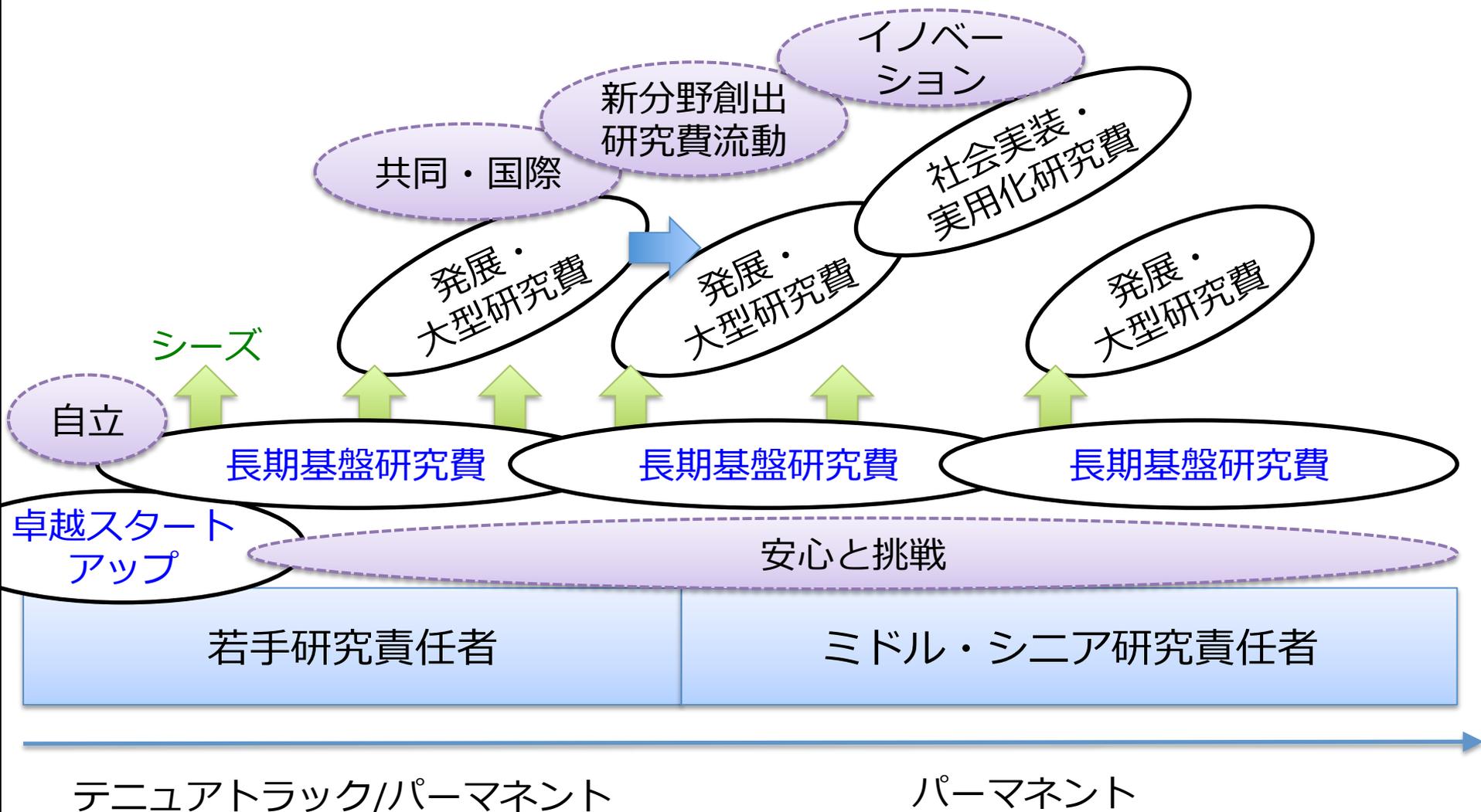
代表的な研究者キャリアパス*と研究費支援の提案

*分野や経歴（社会人学生など）によって実態は多様



代表的な研究者キャリアパス*と研究費支援の提案

*分野や経歴（社会人学生など）によって実態は多様



③ 分野間連携や学際研究を促進する仕組み

- 研究時間の確保
 - ヒト・カネ・モノ + 時間
 - 研究責任者 ≠ 事務担当者
 - 研究責任者 ≠ 唯一の実験遂行者
- 若手の共同研究を促進する研究費枠
- 国内外の若手ネットワーク
 - 若手アカデミーが運営する若手研究者ネットワーク
 - グローバル・ヤング・アカデミー
 - 先端科学シンポジウム (FoS)
 - など

④ 若手研究者支援の難しさ

- 目的は同じでも、具体的な政策には多様な選択肢
政策担当者の腕の見せ所
- 多様なキャリアパスをサポートできる政策

⑤ 若手アカデミーの活用

- 学協会若手会をつなぐ若手研究者ネットワーク
- 若手アカデミーへの審議依頼
など